

What's Inbound?

インバウンドって何？

インバウンド(inbound)とは、外から入ってくる旅行、一般的には訪日外国人旅行を指し、反対に日本人の海外旅行をアウトバウンド(outbound)といいます

日本ではアウトバウンドに比べ、インバウンドの数が著しく少なかったことから、2003年政府は「外国人旅行者訪日促進戦略」を掲げ、訪日外国人旅行者の増加に努めてきました。その結果、国土交通省・観光庁によると、2015年に日本を訪れた外国人旅行者は1,973万7,000人(推計)となり、前年比47.1%の増加で3年連続で最高を更新しました。

インバウンドの事業効果は、宿泊や食事、買い物などの経済効果だけではありません。日本には歴史や文化、自然などの世界に誇れる「日本の良さ」がたくさんあるにもかかわらず、その「良さ」は日本人でさえ十分に認識しきれていません。

インバウンド事業は、訪日外国人の目を通じて、私たち日本人が気付かなかった日本の「良さ」を改めて発見することができ、その「良さ」を伸ばしていくことで、魅力ある地域づくりへとつなげることができるのです。

昨年末に発表された2015年の年間流行語大賞「爆買い」に象徴されるように、近年、訪日外国人旅行者が急増しています。
2020年には東京オリンピックが開催されることもあり、今後ますます日本を訪れる外国人旅行者は増えていくと見込まれます。
二本松市では、今年を「インバウンド元年」と位置付け、外国人旅行者の誘客事業を実施していきます。

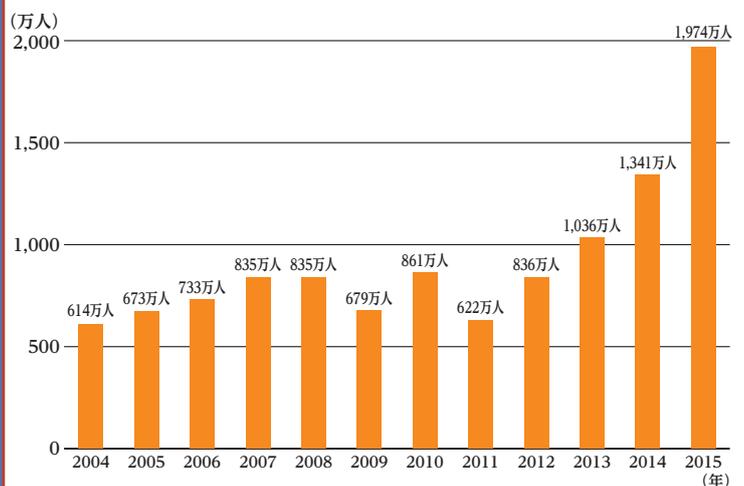
2015年 主な国籍・地域別 訪日外国人旅行者数BEST5

2015年の外国人旅行者数は、世界各国からバランスよく伸びたといわれますが、東アジア諸国からの旅行者数が全体の71.9%に達しています。



出典：日本政府観光協会(JNTO)

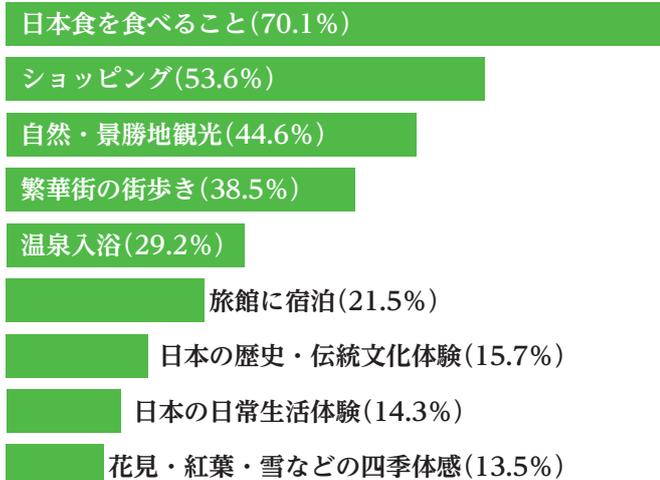
訪日外国人旅行者数の推移(2004~2015年)



注：2014年以前は確定値、2015年1月～10月は暫定値、2015年11月～12月は推計値。
出典：日本政府観光局(JNTO)

訪日観光客の主な旅行目的 (訪問前・複数回答／2015年10月～12月期)

報道などでよく目にする訪日外国人のイメージといえば、ショッピング(買い物)が頭に浮かびます。しかし訪日外国人の主な旅行目的で一番多かったのは「日本食を食べること」でした。日本の自然や歴史に触れ、日本の四季を体感したい外国人も多くいることが下表から見てとれます。

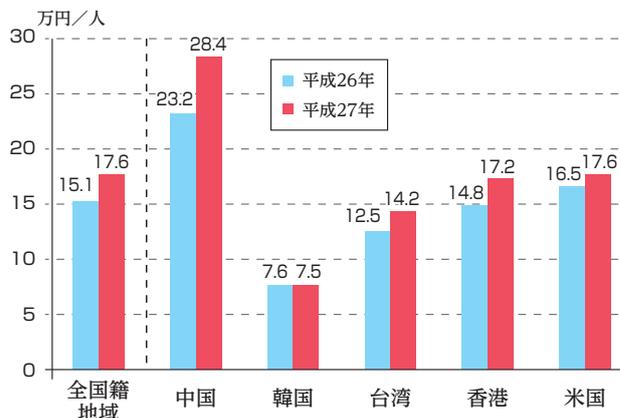


観光庁(訪日外国人の消費動向報告書)より

ようこそ日本へ。
ようこそ二本松へ。

主な国籍・地域別の 訪日外国人1人当たり旅行支出額

2015年の訪日外国人1人当たり旅行支出額平均(速報)は17万6,168円で、前年に比べ16.5%の増加となっています。



出典：日本政府観光協会(JNTO)
H27.1～10月は暫定値、同年11～12月は推計値

交流人口の増加は、地域活性化のカギとなる
二本松市インバウンド

「元年」はじまる

日本全国の自治体が知恵を絞り合うインバウンド事業。外国人から見た二本松市の「良さ」を知り、伸ばしていくことで魅力ある地域づくりを目指します。

なぜ今インバウンドなのか

二本松市において平成26年の1年間で出生した数は368人、死亡した方の数が787人で、1年間の自然動態人口は419人減った結果となりました(県現住人口調査年報より)。少子化が進み定住人口が減少傾向にある今、さまざまな施策を実施しても人口減少の問題を解消することは容易ではありません。

本市では、人口減少対策と並行して観光客などの交流人口を拡大し、人口減少による経済的な影響を緩和させ、市に活力をもたらそうと考えています。

昨年行われた「二本松！お祭り三昧！大集合！」や二本松城跡での「夢の一夜城」など

もその取り組みの一つです。

そして今年の世界へ。コンビニ大手のセブンイレブンの全面的な協力のもと、親日的で来日観光客数が安定的に増えている台湾からの誘客を目指します。

二本松版インバウンド

1月末、二本松市内を中心に台湾の人気アイドルユニット「SpeXial」(スペシャル)のメンバーが旅番組の収録を行いました。撮影された映像は、3月に台湾の主要テレビ局で4週連続放映される他、1日に約200万人が利用し台湾国内に約5千店舗ある台湾セブンイレブンの大型ディスプレイで約1カ月間放映されます。さらにこの映像を、閲覧する人が10万人以

上という彼らのフェイスブックで世界に発信し、本市の知名度アップを図るとともに、6月には彼らを応援するファンが集うファンミーティングを本市で開催する予定です。

二本松でのおもてなし

現在、台湾政府は原発事故に伴い酒類を除き福島県産品の輸入を停止しています。この再開に向けた環境づくりに取り組み中で「来てよかった」と思っていただけることが最



旅番組収録スナップ

1月17日から3日間で収録した旅番組。二本松駅をスタートし、スキー、和紙漉きなどを体験



▲左からSpeXialのフォンティエンさんとチェンジャンさん、女優のユリさん

大のアピールであると考え、市ではボランティア通訳の募集や台湾講習会を実施したりと、おもてなしの準備を進めています(台湾の簡単な紹介を次頁に掲載)。

これからも二本松市の「良さ」を国内外に発信し続け、本市をより活力と魅力のあるまちにしていきます。



大勢の参加者が集まった台湾講習会▶▶

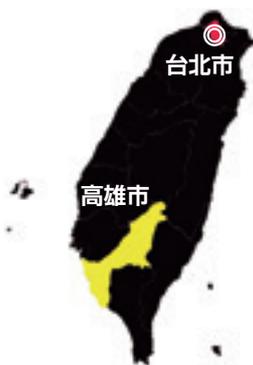


外国人観光客のおもてなしポイント

- ・本場のものを提供する
- ・日本のおもてなしの精神を大事にする
- ・心から受け入れる(そうすることで、言葉が通じなくても自然と相手にもそれが伝わる)

たい 湾 ~豆知識~

「台湾」とは、公文書上では「中華民国」と呼ばれます。台湾は1895年～1945年の間、日本の統治下にありましたが、台湾の方々「もっとも好きな国」にあげるのが日本で43%、2位の中国や米国の7%を大幅に引き離しています(日本と台湾の窓口である(公財)交流協会の2012年度版「台湾における対日世論調査」)。日本に旅行したいと考える方々も8割以上おり、とても親日的であるといえます。



◀台湾の国土は日本の九州の面積とほぼ同じ。台湾最大の島である台湾島をほぼ南北に縦走する5つの山脈が島の面積の約半分を占め、その中の玉山は、富士山よりも高い。気候は島の北部が亜熱帯で南部は熱帯に属しており、夏は蒸し暑いのが特徴。首都は台北市で、日本人観光客の多い高雄市は、島の南部にある。

親日的な理由

1945年まで、台湾は日本の統治下にありましたが、この時期が台湾の発展に貢献したと考える人が台湾国内でも少なくないそうです。統治時代、日本は莫大な国家予算を費やして土地改革やライフルラインの整備、産業育成などを行い、台湾の近代化を推進し、経済大国となった現在の台湾の礎になったともいわれています。その代表的な施設が、台湾農業の発展に大きな貢献をした「烏山頭ダム」で、建設当時東洋一といわれていました。このダムは日本人技師「八田與一」を中心にして10年の歳月をかけて建設され、現在の台湾でも八田の名前を知らない人がいないほどで、日台友好の象徴的な人物とされています。

日本のイメージ

台湾人の日本へのイメージは、「清潔」「親切」「ルールをよく守る」「安全(治安・食品)」「丁寧」など、良いイメージが多いようです。日本人が

あいさつする際にお辞儀をする姿は、台湾の方から見ると「丁寧な人」という印象を与えるようです。

温かいものが大好き

台湾では、冷たいものは体に良くないといわれています。そのため街中の至る所にお鍋屋さんがあり、暑い夏でも冷房をつけて鍋料理を食べるそうです。また台湾の飲食店では、夏でも温かいお茶が出るそうで、台湾の方からすると、冬でも冷たい水を出す日本が不思議に感じるそうです。



「こんにちは」
「こんばんは」
「你好(ニーハオ)」

台湾の公用語は中国語(北京語)ですが、中国で使われている公用語とは書体や発音に違いがあります。ここでは台湾で使われている簡単な中国語を紹介します(下表参照)。

二本松市との関係

大正12年、経営状態が厳しかった岳温泉街に、当時、台湾で随一の実業家・木村泰治(秋田県出身)が私財を投じて経営を立て直し、岳温泉繁栄の礎を築きました。その後昭和12年、木村氏は台湾の初代商工会議所会頭となりました。

東日本大震災では多額の義援金や応援メッセージが寄せられました

東日本大震災後、多くの国々から義援金や救済物資がありました。その中でも台湾からの義援金は約200億円以上となり、総額ではアメリカに次いで2番目の額ですが、人口割にすると世界一でした。また台湾の日本大使館に当たる公益財団法人交流協会の建物内には、壁一面に被災者への応援メッセージが今も貼られています。



▲台湾の小学生が書いた応援メッセージ。「頑張れ日本」などと書かれています

2月6日に発生した台湾南部地震では、多くの被害が発生しました。犠牲になられた方々に慎んで哀悼の意を表します。なお、二本松観光協会が主体となり、緊急支援活動に取り組みました。